

# 分析レポート

東山区ワンルーム大作戦！

こんな暮らしはどう？

**PoliPoli** Gov

2025年3月31日



## 意見募集の概要・実施結果

- 調査方法：デジタルツール「PoliPoli Gov」を用いたインターネットリサーチ
- 意見募集のテーマ
  - 東山区ワンルーム大作戦！こんな暮らしはどう？
- 調査期間：2025/03/14～2025/03/30（17日間）
- 調査地域：全国オンライン
- ページ閲覧数：1,163PV
- 総コメントユーザー数：55人（\*ユーザーIDの重複を削除した値より、ユニークユーザー(UU)数を算出）
- 総コメント投稿数：99件（\*コメント公開基準に抵触する非公開コメントを除外した値を算出）

### 意見募集の仕組み



※プラットフォーム内のコミュニティを健全に保つため、投稿されたコメントが攻撃的な内容や広告目的と判断された場合に、運営側でコメントを非公開としています。

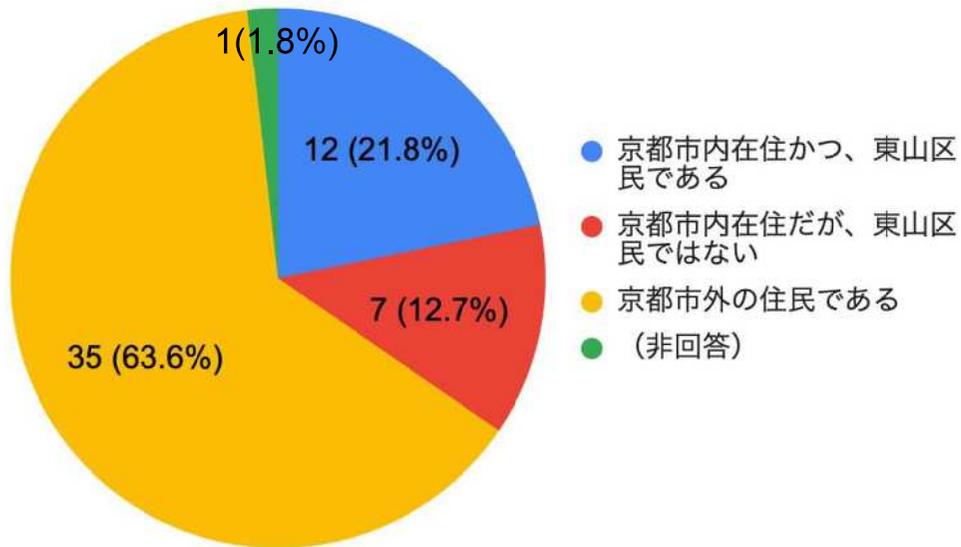


URL: <https://polipoli-gov.com/issues/gZrdjmrNSqjqXFmN9DHP>

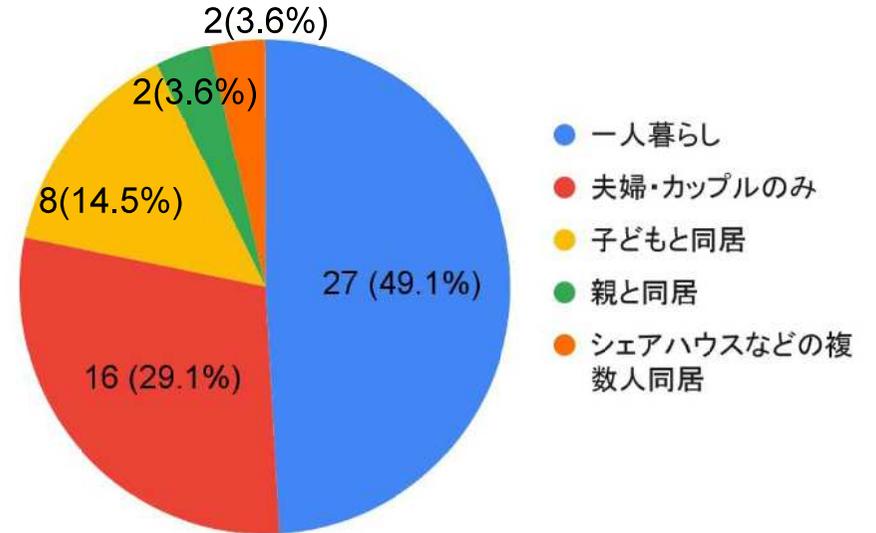
# 意見募集の概要・実施結果 | 全コメントにおけるユーザー属性

ユーザー属性の回答について集計を行い、以下の通りとなった。

あなたと東山区の関わり (UU 55人)



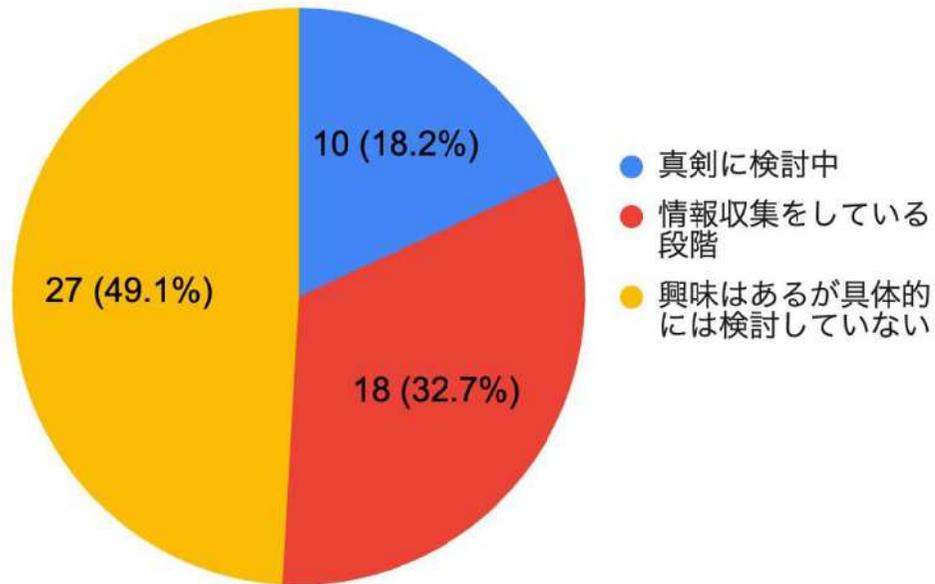
現在の家族構成 (UU 55人)



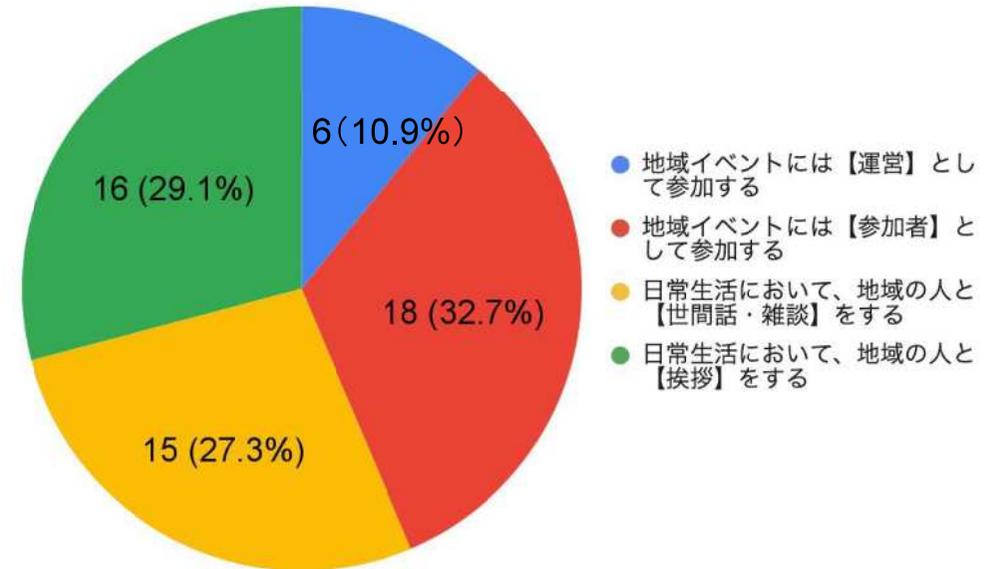
## 意見募集の概要・実施結果 | 全コメントにおけるユーザー属性

選択式設問の回答について集計を行い、以下の通りとなった。

京都市への移住の検討状況 (UU 55人)



京都市への移住の検討状況 (UU 55人)

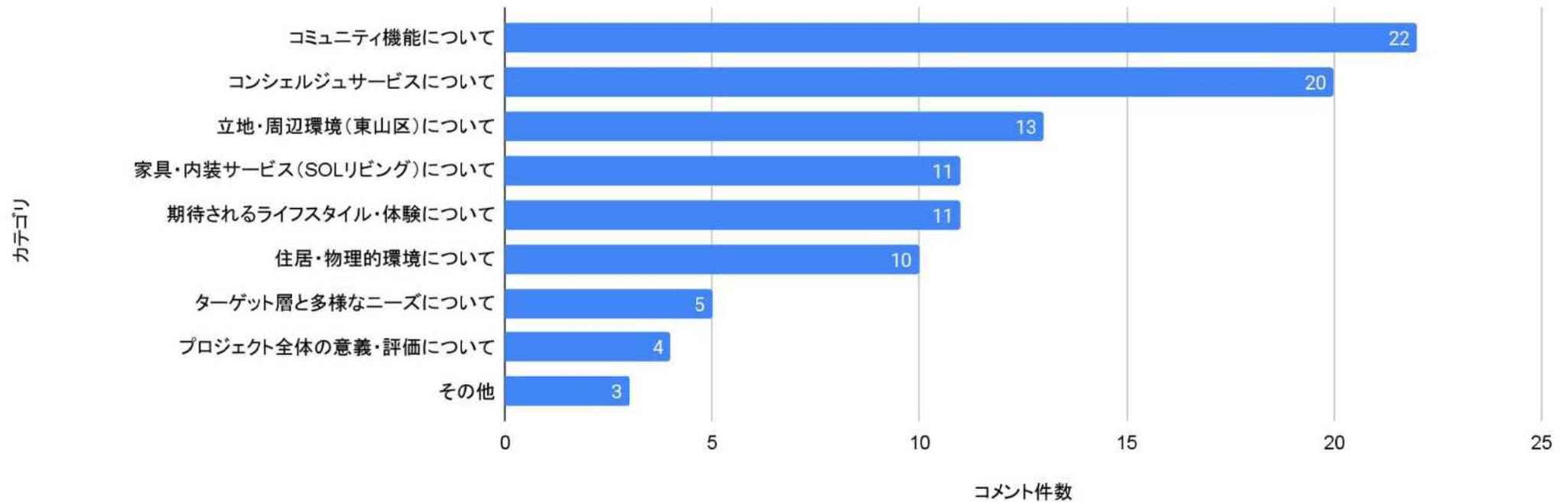


# カテゴリごとの分析

## カテゴリ別コメント件数 (n=99件)

コメント全件をアイデアのカテゴリに分けた場合、下記の結果となった。

コメント件数 と カテゴリ



## カテゴリごとの分析ーカテゴリ内で言及されたキーワード

コミュニティ機能について	件数	コンシェルジュサービスについて	件数	家具・内装サービス (SOL) について	件数	住居・物理的環境について	件数
イベントへの期待	8	不安の軽減	6	家具	7	広さ	6
独自コミュニティ	5	距離感	4	空間の雰囲気	3	コスト	2
つながりの安心感	4	その他	4	その他	1	光熱水費	1
その他	2	生活相談	3			その他	1
子育て	2	橋渡し	3				
共有空間	1						
合計	51	合計	20	合計	11	合計	10
ターゲット層と多様なニーズについて	件数	立地・周辺環境（東山区）について	件数	期待されるライフスタイル・体験について	件数	プロジェクト全体の意義・評価について	件数
スタートアップ	2	観光、景観	5	スローライフ	4	期待感	2
多様な層への対応	1	排他性	3	シェアハウス	3	共創事業への共感	1
パートナーとのギャップ	1	文化	2	新生活	3	結果の連携希望	1
ファミリー	1	周辺環境	1	リモートワーク	1		
		子育て	1				
		交通利便性	1				
合計	5	合計	13	合計	11	合計	4

# 全体考察

## 全体考察一 所感

### プロジェクトに対する回答者の全体的な所感

- 基本的に回答者のうち**大多数がポジティブな意見を持ち、期待を寄せている**様子が伺えた。一方で「ワンルームがそもそも選択肢に入らない」「不動産オーナーに寄り添いすぎではないか」といった声はあった。
- コンシェルジュのコミュニケーションについては20件程度の言及があった。コミュニケーションの性質については、「**程よい距離感**」「**コミュニケーションの頻度や密度を選択したい**」といった声**が大多数**で、積極的な接触を求めている声は少なかった。コミュニケーションの性質に言及しないまでも、コンシェルジュの存在自体が「**心強い**」「**ありがたい**」「**安心できる**」といったコメントが上がっていた。

## 全体考察一詳細

### **孤独感や地域との関係性の重要性**

多くのコメントは、移住先での孤独感や地域社会とのつながりの重要性を強調している。特に、地域との関係が浅い人々にとって、地域コミュニティとの接点が不可欠であると感じている様子が見受けられる。「最初に知り合いを作るのが大変」「地域のことを教えてくれる人がいると心強い」という意見は、移住者が感じる不安を反映している。移住後にすぐに地域に馴染めるようなサポート体制が求められていることがわかる。

考察: ここでの重要なポイントは、移住者が最初に直面する孤立感を解消するためのサポート体制である。コンシェルジュサービスのようなサポートは、移住者が地域とのつながりを築く上で非常に効果的であるといえる。また、地域住民との接点を提供するために、共同スペースや地域交流イベントを増やすことが有効であり、移住者が地域に溶け込む手助けになる。

### **コンシェルジュサービスの重要性**

コメントの中には、コンシェルジュの役割に関する非常に前向きな意見が多く見られる。「コンシェルジュがいるのは心強い」「プライベートに入り込みすぎず、程よい距離感でいて欲しい」という意見は、移住者が個々のニーズに合わせたサポートを期待していることを示している。また、移住者が自分の生活スタイルに合った支援を受けられることが、移住のハードルを下げる要因となる。

考察: コンシェルジュサービスの提供は、移住者にとって非常に大きな魅力である。特に、プライベートに配慮しつつも、必要な時にはしっかりとサポートを提供するバランスが求められる。また、コンシェルジュのサポート内容や利用条件（オンライン相談可否、対応時間帯など）を具体的に提示することで、利用者がサービスを利用しやすくなり、移住後の安心感が生まれる。

## 全体考察一詳細

### **住居の選択肢と生活の質**

住居に関する意見では、「ワンルームでも内装に高級感が欲しい」「自分の趣味に合わせて部屋をカスタマイズできるのは魅力的」という意見が多く、住居の質や自分のライフスタイルに合った空間を求める声が上がっている。また、収納スペースや家具の選択肢についても関心が高いことがわかる。

考察: 住居に関しては、移住者が自分らしい生活を楽しむための要素として、内装や家具の選択肢を提供することが大切である。特に、家具のサブスクリプションサービスや部屋のカスタマイズが可能であれば、移住者にとって非常に魅力的であり、生活の質を高めることができる。

### **地域との摩擦と安全対策**

一部のコメントには、「地域との相性が合わなかった場合」「コミュニティクラッシャー対策」といった地域との摩擦に関する懸念が見られる。これは、共同生活や地域密着型のプロジェクトで生じる可能性のある問題である。

考察: 地域との摩擦を避けるためには、事前に移住者との地域での過ごし方のすり合わせを調整を行い、生活上のルールやモラルを守る環境を整えることが不可欠である。また、地域との不一致が生じた場合に安全に逃げ道を確保できるよう、柔軟な対応策を提供することが求められる。この点を明確に示すことで、移住者の不安を軽減できる可能性がある。

## 全体考察一詳細

### 多様なニーズに対応したプラン

SOL自体はそもそも学生や高齢者をターゲットとしていないが、移住者は年齢層やライフスタイルが異なるため、それぞれのニーズに対応した住居やサービスが必要であるという意見もある。特に「学生」「若年層」「高齢者層」のニーズの違いが指摘されており、ターゲット層ごとの具体的なサービス設計が求められている。

考察: 移住者の多様なニーズに対応するためには、住居の種類やサービス内容を柔軟に調整することが重要である。例えば、学生向けには安価でシンプルな住居、高齢者向けにはバリアフリーで生活支援サービスを充実させるといった、ターゲット層に応じたプランを検討する必要がある。

### <結論>

移住者が感じる不安や期待を理解し、それに対応するためのサポート体制を構築することが、本プロジェクトの成功に繋がる。コンシェルジュサービスや地域交流の場の提供、住居のカスタマイズ可能性などを通じて、移住者が安心して生活できる環境を整えることが重要である。また、現時点ではターゲットは絞られているが、多様なニーズに応じた柔軟なサービス設計を行うことで、より多くの人々に魅力的な移住先となるだろう。

# コメントピックアップ

カテゴリ内で言及されたTOP3のキーワードを含む  
コメントをピックアップ

コメントの後ろに（あなたと東山区の関わり/京都市への  
移住の検討状況）を記載

## 代表的なコメント | コミュニティ機能について

- イベントへの期待
  - 小学生の子どもと生活しているので、地域と一緒に育てられるような共同空間だったりイベントが充実していると魅力を感じます。（京都市外の住民である/興味はあるが具体的には検討していない）
  - 地域イベント、参加はしてみたいけど、毎回参加必須みたいな雰囲気だとちょっとしんどいかも。（非回答）
- 独自コミュニティ
  - 地縁のない地域に入り込むのは、なかなか大変で、「移住」はしても地域活動に関わりが持てなかったり、ヨソモノのままな方も多くいらっしゃると思うので、意識的にコミュニティ組成がされている点に魅力を感じました。（京都市外の住民である/情報収集をしている段階）
  - コミュニティがあるから、困ったときも「助けて！」って言いやすいかも。（非回答/情報収集をしている段階）
- つながりの安心感
  - 何かしら、自分の職やスキルを活かして相互の助けになれること、会話をする機会を持ってそうで孤独になりにくい環境は、ある意味、個人の間が疎遠になり、大家族が壊れて戻らない日本社会の欠点を補ってくれるかなと価値を感じます。（京都市外の住民である/興味はあるが具体的には検討していない ※運営にて要約）
  - 一人くらいでは少し孤独だったりするので、地域の人と関わりを持ちながら生活できるのがいいなと思いました！（京都市外の住民である/興味はあるが具体的には検討していない）

## 代表的なコメント | コンシェルジュサービスについて

- 不安の軽減
  - 「友人のようなコンシェルジュ」すごく魅力的です！特に地方から初めて京都に住む場合、地域の情報や手続きなど、わからないことだらけだと思うので、気軽に相談できる相手がいるのは心強いです。物件探しだけでなく、生活全般のサポートがあれば、移住のハードルがぐっと下がると思います。京都は排外的な地域のイメージがありますので。（京都市外の住民である/興味はあるが具体的には検討していない）
  - 移住した先で何かと困りごとがある中で、気軽に相談できるコンシェルジュがいることは心強いし、魅力的（京都市外の住民である/興味はあるが具体的には検討していない）
- 距離感
  - 移住先にコンシェルジュがいるのは魅力的。ただプライベートに入り込みすぎず、程よい距離感でいて欲しい。アドバイスよりも、同じ目線に立って案内してもらえたらとてもありがたい。（京都市外の住民である/興味はあるが具体的には検討していない）
  - 移住前は相談したいが、移住後はこちらから関わらない限りアドバイスなどは求めない。（京都市外の住民である/情報収集をしている段階）
- その他
  - 京都での暮らしに憧れはあるが、今特にこれといった趣味がないので、コンシェルジュの提案がきっかけで新しい趣味が始められるといいと思う。具体的にどんな提案があり得るのか気になります。（京都市外の住民である/情報収集をしている段階）
  - コンシェルジュサービスは、具体的なサポート内容や対応時間が明確になっていると利用しやすいと思います。例えば、オンラインでの相談が可能か、相談できる時間帯はいつか、相談できる回数に制限があるかなど、詳細な情報があると、利用のイメージがしやすいです。（京都市外の住民である/興味はあるが具体的には検討していない）

## 代表的なコメント | 立地・周辺環境（東山区）について

- 不安の軽減
  - 観光シーズン中の騒音や混雑がどの程度なのか、すこし気になります。日常生活への影響を知りたいです。（京都市内在住かつ、東山区民である/情報収集をしている段階）
  - 東山区の歴史的な環境で静かに暮らすことに魅力を感じています。落ち着いた生活ができそうです。（京都市外の住民である/興味はあるが具体的には検討していない）
- 排他性
  - 京都の「一見さんお断り」文化、今は薄れていると聞くけど、実際どうなんだろう。（京都市内在住かつ、東山区民である/真剣に検討中）
  - 京都に住むこと自体は憧れるけど、「よそ者」への壁みたいなものはやっぱり気になる。（京都市内在住かつ、東山区民である/情報収集をしている段階）
- 文化
  - 京都は好きなのですが、住む場所として考えるには敷居が高かったなので、サポートがあることは魅力的です。東山区ならではの文化の中で暮らせることに魅力を感じます。（京都市外の住民である/真剣に検討中）

## 代表的なコメント | 家具・内装サービス (SOLリビング) について

- 家具
  - 引っ越した時は家のサイズや雰囲気に合わせて家具の用意も大変で、長期間かけて集めることになったりすることもあるので、最初にサブスクで一通りのセットを使えて試せるのは良さそうだと思います。購入というのも、試した後に買取ということですかね？そしたら気兼ねなく使えたりカスタマイズもできて良さそうです。（京都市外の住民である/興味はあるが具体的には検討していない）
  - SOLリビング、家具付きなら引っ越しの手間も省けて最高！身軽に移住できる！（京都市外の住民である/情報収集をしている段階）
- 空間の雰囲気
  - 人生一度きりなので、一生のうちに全国の何カ所かに滞在したり住んでみたいなと思っています。SOLについてですが、自分は全国をふらっと旅して生きていきたいので片道切符はちょっと抵抗ありますが、振り返ってここに住んでよかったと後で思えるようにしたいです。もし京都のワンルームに住むなら、内装は和風の高級感のある感じで、陶器など京都の伝統工芸品に囲まれて暮らしたいなと思います。また、プライベートな時間は大事にしつつ、京都ならではのものや祭りなどのイベントも見てみたいです。（京都市外の住民である/興味はあるが具体的には検討していない）
  - ワンルームで内装が選べるのは良いことだが、費用の兼ね合いを考えるべき。（京都市外の住民である/興味はあるが具体的には検討していない）
- その他
  - SOLリビングで過ごす時間が、自分を大切にできる時間になりそう。（京都市外の住民である/情報収集をしている段階）

## 代表的なコメント | 期待されるライフスタイル・体験について

- スローライフ
  - 静かに暮らしたい人向け、コミュニティを重視する人向け、など、いくつかパターンがあると良い。（京都市内在住だが、東山区民ではない/情報収集をしている段階）
  - 個人的には、地域の猫たちと静かに触れ合えるような環境だと幸いです。猫は好きなので。🐾（京都市内在住かつ、東山区民である/情報収集をしている段階）
- シェアハウス
  - 京都で友人がシェアハウスに住んでいた。そのシェアハウスでは節句など季節の行事を行っていたらしく、興味が湧いた。（京都市外の住民である/興味はあるが具体的には検討していない）
  - 海外のシェアハウスのような感じで魅力的です。自分のプライバシーが確保されているのもよいと思います。（京都市外の住民である/興味はあるが具体的には検討していない）
- 新生活
  - 京都移住、人生の新しいチャプターの幕開けって感じ！（京都市内在住かつ、東山区民である/真剣に検討中）
  - やっぱり京都といえば素敵な出会いですね！🌸 新しい生活でそういうチャンスもあるのかなって、ちょっと期待してます。（京都市内在住かつ、東山区民である/真剣に検討中）

## 代表的なコメント | 住居・物理的環境について

- 広さ
  - 例えば収納が多めに必要な方、部屋の広さを重視する方、趣味の物を並べたい方、それぞれの希望に応じて空間を変えられるといいなと思います。また、地域に馴染めるか不安な時、地域のことを教えてくれたり、つないでくれたりする方が近くにいらっしゃれば、大変心強いと思います。（京都市内在住だが、東山区民ではない/情報収集をしている段階）
  - 東山区、自転車での移動がメインになるのかな？駐車スペースはあるのだろうか。（京都市外の住民である/情報収集をしている段階）
- コスト
  - 家賃が安ければ住みたいです。（京都市外の住民である/興味はあるが具体的には検討していない）
  - 東山区は観光地の近くなので家賃が高そうなイメージですが、このプロジェクトではどうなのでしょう。また、移住後のギャップを減らすために、事前に体験談などを聞けると参考になりますね。（京都市内在住かつ、東山区民である/真剣に検討中）
- 光熱費
  - 京都の夏、エアコンなしでは厳しいと思うけど、電気代も気になる。（京都市内在住かつ、東山区民である/真剣に検討中）

## 代表的なコメント | ターゲット層と多様なニーズについて

- スタートアップ
  - 20代です。京都には素晴らしい歴史があり、魅力もあるので、興味はあります。移住で最も大事なものは、そこに仕事があるか、知り合いがいるか、楽しそうかという3点です。特にスタートアップ企業で働いているので、スタートアップが活躍しやすいか、コミュニティがあるかを検討いただきたいです。（京都市外の住民である/情報収集をしている段階）
- 多様な層への対応
  - ユーザー像についての洞察が見えない。ワンルームとなると基本は単身者
    - 1)学生
    - 2)社会人若年層
    - 3)独身中年層
    - 4)高齢者層とそれぞれが違ったニーズを持っているので、それらを真剣に検討されたし。不動産オーナーに寄り添い過ぎて甘い言葉が多く、住民減少に対する危機意識が低く、移住検討者にも寄り添っていないプレゼン資料だと感じました。高齢者層が多い地区に学生や若年層を取り込むには、抜本的な取り組みが必要と思います。（京都市内在住だが、東山区民ではない/興味はあるが具体的には検討していない）
- パートナーとのギャップ
  - 夫が京都市の出身なので近い将来の移住を検討しています。夫は家族、知り合いが多くいるので良いですが自分は知り合いほぼゼロで移住することを考えると、同じ境遇の人同士でつながるオンライン、オフラインの情報交換の場などがあると嬉しいなど。（京都市外の住民である/真剣に検討中）

## 代表的なコメント | プロジェクト全体の意義・評価について

- 期待感
  - 東山区ワンルーム大作戦、大成功してほしい！京都がもっと好きになる！（京都市内在住かつ、東山区民である/情報収集をしている段階）
  - このプロジェクトはとても興味深いです。京都市での一人暮らしについての情報を共有することは非常に有益だと思います。参加を楽しみにしています。（京都市内在住かつ、東山区民である/真剣に検討中）
- 共創事業への共感
  - 次世代の暮らし方の選択肢としてより良い在り方だと思いました。居住地域を個人が自由に選択できる反面、多様な課題を短期のみならず中長期的な解決も考えなくてはならない側面もあり、コミュニティにすべてを委ねる、自治体のみが取り組むなどの事例と異なり、より市民目線での連携といった観点に魅力を感じました。（京都市外の住民である/興味はあるが具体的には検討していない）
- 結果の連携希望
  - プロジェクトの成功事例とか、具体的な入居者の声をもっと聞けると判断しやすい。（京都市内在住かつ、東山区民である/真剣に検討中）

*PoliPoli* Gov